

4月16日 コープぎふの森・関 「山菜に出会えるのでしょうか？」 が開催されました。

約100人の子どもから高齢者の人が集まり、4グループに分かれ、植栽体験、山菜取り、山登り、散策を楽しみました。



開会式では企業との協同による森林づくりの岐阜県知事感謝状が披露されました。

散策している途中ではウグイスが鳴いていました。



キハダとフジバカマを植えました。







約10年前に植栽したキハダの樹皮をとって味見をしました。キハダの樹皮は薬の成分が含まれています。



コシアブラ、タカノツメ等の山菜をとり、昼食にはそのてんぷらを食べました。

原木にシイタケの菌を打ち込みました。来年にはしいたけを収穫しよう。



この企画には中濃森林組合、関市、ふどうの森クラブ、上迫間ふれあいの森林づくりの会、岐阜県(恵みの森づくり推進課、中濃農林事務所)が支援しました。